

自身を見つめて…中学生が「立志の誓い」

このほど、町内の各中学校で、2年生による立志式が行われました。

立志式とは、武士社会での元服にちなんで満15歳を祝う儀式で、参加者は将来の決意や目標などを明らかにすることで、大人になる自覚を深めると言われます。

「立志」という言葉の語源には諸説がありますが、幕末の志士・橋本佐内が15歳の時に記した『啓発録』で述べている、「目的を達するには一途にその方面のみを志して、他方は一切犠牲にする必要がある。少年は、人々の行動に迷いやすが、迷わない用意と、覚悟を怠ってはならない。」が、現代の立志式の意義に近いようです。

生徒それぞれが自身を見直し、理想を目指すことを「宣誓」する様子は、佐内の言う『迷わない覚悟』を感じさせました。



座論梅を鑑賞、梅まつり

2月7日、湯之宮地区の座論梅で梅まつりが開催され、ステージイベントや餅つき、野点、小物作りがあり、会場は多くの来場者で賑わいました。



知事と町民の代表による意見交換会

2月9日、河野宮崎県知事と町内各界の代表者33名がざつぱらんに語り合う「知事とのふれあいフォーラム」がありました。

農業や防災、人口減少問題、フードビジネス等、様々なジャンルにわたって質問や意見がなされ、そのひとつひとつに知事自ら回答されました。



北方領土返還要求運動キャラバン隊

2月8日、北方領土返還要求運動県内キャラバン隊が役場を訪問し、北方領土返還に向けた機運を盛り上げるため、啓発・広報活動を行いました。



T-1グランプリ開催

2月14日、宮崎市で小学生100名が宮崎茶の茶ンピオンを競う「T-1グランプリ」があり、町内から参加したM.I.T.Yチームが、第2位に輝きました。



消防団第3分団第12部機庫の上棟式

2月28日、横江地区において避難施設と複合した消防団第3分団第12部の新しい機庫の上棟式があり、消防団幹部等が無事完成を祈りました。



青色回転灯（青パト）出発式

2月29日、NPO法人ふるさと元気ネット(岩元雅則会長)が、日本財団から助成を受けて新しく配備した青パトの出発式が行われました。

